

(別添1)

令和3年度老人保健健康増進等事業

＜新型コロナウイルス感染症影響下における通いの場をはじめとする
介護予防の取組に関する調査研究事業＞

＜株式会社日本能率協会総合研究所＞

高齢者については、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛による閉じこもりや健康への影響が特に懸念される場所であり、その実態把握が重要である。

本事業では、新型コロナウイルス感染症により発生した影響として、通いの場をはじめとする介護予防に係る「取組の縮小状況」や「高齢者の心身等への影響」、また、それらの「実態を把握する手法」、季節性感染症等も含む感染拡大防止に配慮した「取組の再開手法」、一般介護予防事業をはじめとした「介護予防に係る取組の展開」等について実態を把握するための調査の実施、また、各調査等から得られた「効果的な取組」について取りまとめ、事例集としてまとめた。

(事業概要)

1. 実態把握調査

新型コロナウイルス感染症の、通いの場をはじめとした介護予防に資する取組への影響を明らかとするため、全国の市町村（悉皆）を対象とした調査を実施し、実態を把握した。

市町村悉皆調査を全2回、実施した（第1回：2021年9月30日（木）～10月22日（金）、第2回：2022年1月12日（水）～2月4日（金） ※いずれも一部回答漏れ等について期間を延長し回収）。

2. 特定自治体の協力による詳細分析

「1.」のアンケート調査に平行し、より詳細な影響分析を行うために体力測定データのコロナ禍前後比較分析を行った（2022年2～3月）。

加えて、高齢者本人・同居家族に対する両側面調査として、基本チェックリストの25項目を改変した調査を実施（2021年8～9月）。

3. 事例集の作成

全国10か所の事例を取り上げ、新型コロナウイルス感染症影響下における取組の継続や発展性について情報提供を行うツールとして、事例集を作成した。

調査結果は、報告書に取りまとめ、弊社ホームページにて、2022（令和4）年3月付けにて発表。